

カリキュラム

科目番号・科目名	時間	項目番号・項目名	講 師
1. 職務の理解	6 時間	(1)多様なサービスの理解	安藤慎一
		(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	安藤慎一
2. 介護における尊 厳の保持・自立支援	9 時間	(1)人権と尊厳を支える介護	安藤慎一
		(2)自立に向けた介護	安藤慎一
3. 介護の基本	6 時間	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	横井真弓
		(2)介護職の職業倫理	横井真弓
		(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	横井真弓
		(4)介護職の安全	
4. 介護・福祉サービ スの理解と医療との 連携	9 時間	(1)介護保険制度	渡邊道敬
		(2)医療との連携とリハビリテーション	阿部信美 永田武彦
		(3)障害医者自立支援制度およびその他制度	渡邊道敬
5. 介護におけるコ ミュニケーション技 術	6 時間	(1)介護におけるコミュニケーション	横井真弓
		(2)介護におけるチームのコミュニケーション	横井真弓
6. 老化の理解	6 時間	(1)老化に伴うこころとからだの変化と日常	宮田義彌
		(2)高齢者と健康	宮田義彌
7. 認知症の理解	6 時間	(1)認知症を取り巻く状況	玉野美帆
		(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	玉野美帆
		(3)認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	春日井忍
		(4)家族への支援	春日井忍
8. 障害の理解	3 時間	(1)障害の基礎的理解	松浦唯子
		(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かわり支援等の基礎的知識	松浦唯子
		(3)家族への支援	松浦唯子
9. こころとからだ の仕組みと生活支援技 術	10～13 時間	I. 基本的知識の学習 (12 時間) (1)介護の基本的考え方 (2)介護に関するこころのしくみの基礎的理解 (3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解	牧ヶ野裕子

カリキュラム

	50～55 時間	Ⅱ. 生活支援技術の講義・演習 (51時間)		
		(4)生活と家事	春日井 忍	
		(5)快適な居住環境整備と介護	小林 千文	
		(6)整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	松浦 唯子	
		(7)移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	萩尾陽登美	
		(8)食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	玉野美帆	
		(9)入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	松浦唯子	
		(10)排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	春日井 忍	
		(11)睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	萩尾陽登美	
		(12)死にゆく人に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	丹波ちひろ	
		10～12 時間	Ⅲ. 生活支援技術演習(12時間)	
		(13)介護過程の基礎的理解	牧ヶ野 裕子	
	(14)総合生活支援技術演習	萩尾陽登美		
10. 振り返り	4時間	(1)振り返り	萩尾陽登美	
		(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修	萩尾陽登美	
合計 130 時間				
修了評価	1時間	修了試験	加藤容子	
	修了式			